

## 巻頭言

# 新しい社会をつくる 学際・連携の力



埼玉大学長

坂井 貴文

SAKAI Takafumi

人類の歴史を紐解くと、戦争や災害、事件や事故により社会の価値観が急激に変化する、あるいは社会システムが抱える問題が顕在化して変革が起こる、いわば時代の転換点が見られます。例えば、14世紀にヨーロッパの人々の30%前後が死亡したとされるペストの流行は、荘園制の崩壊や教会の権威失墜をもたらしました。感染症のパンデミックが、通常では見えなかった社会システムの矛盾を浮き彫りにすると同時に、それまで作られてきた価値観を破壊したのです。

現在、我々が経験している新型コロナウイルス感染症のパンデミックも、時代の転換点として記憶されるに違いありません。

事実、大都市を中心に感染拡大が続くことで、我々は大都市が持つ危うさを再認識しました。また、リモートワークやオンライン授業など、これまで一步を踏み出すことができなかった我が国のICT活用が一気に進み、様々な革新的取組が始まっています。これらのことは、今後の我々の考え方や働き方を間違いなく変えていきます。この大きな変化の中で、私にとって印象的だったのは、感染症対策への専門分野を超えた知の結集でした。感染症の拡大当初、感染制御の専門家意見の聞いて施策を講じていた政府は、後に設置した、新型コロナウイルス感染症対策分科会のメンバーとして、病院関係者、経済学者、マスコミ関係者らを加えました。このことは、学際的な協力・連携なくしては社会問題の解決が不可能であることを如実に示しています。

「学際」、「連携」がますます重要なキーワードになっていく世界にあって、5学部がひとつのキャンパスに集まり、幅広い人材が多様な学問を展開しているという本学の特徴は大きな強みになります。この強みを基に、埼玉大学産学官連携協議会の皆様との一層の連携により、理論から社会実装に至るまで様々な階層の知を活用・発信し、時代の転換点において、皆様とともに新しい社会をつくってまいりたいと存じます。

## CONTENTS &gt;&gt;&gt;

- 01 巻頭言
- 02 活動報告「第21回定期総会」
- 03 活動報告「研究会」「3D-CAD&3Dプリンター研修」
- 04 会員企業訪問記「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社」
- 05 会員企業訪問記「パシフィックシステム株式会社」
- 06 大学発ベンチャー企業紹介「株式会社Epsilon Molecular Engineering」
- 07 大学発ベンチャー企業紹介「株式会社社会調査研究センター」
- 08 オープンイノベーションセンター産学官連携活動カレンダー

# 活動報告

Report

01

## 第21回 定期総会(書面表決)

埼玉大学産学官連携協議会では、設立20周年を迎え、例年通り定期総会を実施すべく2020年6月1日(月)の開催に向け準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、特別講演、交流会(懇親会)は行わず、定期総会みの開催とすることに致しました。しかしながらその後も緊急事態宣言が継続している状況を受け、実開催を見送り、書面により決議いただくこととしました。

2019年度事業報告案及び決算案、2020年度事業計画案及び予算案、役員改選案の各号議案は4月28日(火)に開催の運営委員会(メール審議)において運営委員による審議を行いました。

各会員へは、5月18日付で書面表決書及び第21回定期総会資料を送付し、6月1日を締切として各号議案への賛否を回答いただきました。議案の可決については、ご提出いただいた書面表決書のうち、当協議会規約第4章第17条(総会の定足数)により、賛成が過半数を超えた場合に可決と致しました。

| 埼玉大学産学官連携協議会<br>第21回定期総会 議事                  |                  |       |
|--|------------------|-------|
| 第1号議案  | 2019年度事業報告(案)    | 資料1   |
| 第2号議案  | 2019年度決算(案)      | 資料2-1 |
|  | ・収支計算書           | 資料2-2 |
|  | ・貸借対照表           | 資料2-3 |
|  | ・正味財産増減計算書       | 資料2-4 |
|  | ・財産目録            | 資料2-5 |
| 第3号議案  | 2020年度事業計画(案)    | 資料3   |
| 第4号議案  | 2020年度予算(案)      | 資料4   |
| 第5号議案  | 役員改選             | 資料5   |
|  | ・2020年度役員(案)     | 資料6   |
| 参考資料   | 埼玉大学産学官連携協議会規約   | 資料7   |
|  | 埼玉大学産学官連携協議会細則   | 資料8   |
|  | 埼玉大学産学官連携協議会会員名簿 |       |
| [別紙]<br>参考資料<br>・ニュースレター-51号<br>・ニュースレター-52号 |                  |       |

議事・資料一覧

書面表決結果は別表1に示す通り、すべての議案について、過半数の賛成をもって原案通り可決されました。2020年度事業計画案では、例年、定期総会と同日に産学交流会(産学連携事例発表)を行っておりましたが、総会のみ開催の運びとなったことから、別日程にて設立20周年記念講演会等を計画することが盛り込まれました。また、役員改選が行われ、上條正仁会長が名誉会長に就任し、新たに一般社団法人埼玉県経営者協会会

| 書面表決書   |               |    |    |
|---|---------------|----|----|
| 2020年 月 日   |               |    |    |
| 法人・団体名 _____  |               |    |    |
| 代表者氏名 _____ 印   |               |    |    |
| <small>(※代表者は、本協議会にご登録いただいている代表者をご記入ください)</small>   |               |    |    |
| 私は、埼玉大学産学官連携協議会第21回定期総会における以下議案について、次のとおり表決します。   |               |    |    |
| 議案番号  | 議案            | 賛成 | 反対 |
| 第1号議案   | 2019年度事業報告(案) |    |    |
| 第2号議案   | 2019年度決算(案)   |    |    |
| 第3号議案   | 2020年度事業計画(案) |    |    |
| 第4号議案   | 2020年度予算(案)   |    |    |
| 第5号議案   | 役員改選          |    |    |
| 【意見】 ※ご意見がありましたらご記入ください。  |               |    |    |
|   |               |    |    |
| <small>(注) 1. 各号議案について「賛成」「反対」いずれかに○印で表示してください。<br/>2. 「賛成」「反対」の両方に○印がある場合および両方に○印が無い場合には、その議案について賛成とみなします。</small> |               |    |    |

書面表決書様式

長の石井進氏が当協議会会長となりました。上條氏には、2期4年の間、各事業の活性化にご尽力いただきました。なお、この書面表決結果は6月10日(水)付で、各会員へ郵送致しております。

当協議会の定期総会としては初の書面での決議を行いました。各会員におかれましては、在宅勤務や出勤抑制が求められる情勢の中、書面表決へご協力をいただきましたこと、改めて御礼申し上げます。

## 別表1

## 埼玉大学産学官連携協議会 第21回定期総会表決結果

## 定足数

6月1日時点会員数……238会員  
書面表決書受領……185会員

会員数238に対し、書面表決185会員分が集まりましたので、当協議会規約第4章第17条(総会の定足数)における総会成立条件である3分の1以上の出席(書面表決者を出席者とみなす)を満たす結果となりました。

## 議案

| 議案    | 議案            | 賛成    | 反対  |
|-------|---------------|-------|-----|
| 第1号議案 | 2019年度事業報告(案) | 賛成185 | 反対0 |
| 第2号議案 | 2019年度決算(案)   | 賛成185 | 反対0 |
| 第3号議案 | 2020年度事業計画(案) | 賛成185 | 反対0 |
| 第4号議案 | 2020年度予算(案)   | 賛成185 | 反対0 |
| 第5号議案 | 役員改選          | 賛成185 | 反対0 |

## 結果

すべての議案について、過半数の賛成をもって可決されました。

Report

02

## 埼玉大学産学官連携協議会研究会報告

2020年度も「アブラヤシバイオマス利活用研究会」「防災ビジネス研究会」「AI時代の画像処理技術研究会」「創エネ・蓄エネ技術研究会」「AI活用研究会」の5つの研究会が活動を行っております。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、従前のような活動が実施しがたい環境にはありますが、その中でも研究開発や市場化に向けた取り組みを行っております。

防災ビジネス研究会では、代表の藤池一誠氏(株式会社デサン/代表取締役社長)が8月4日(火)に清水勇人さいたま市長を表敬訪問し、研究会を中心に研究開発を行った防災製品のデモンストレーションを実施しまし

### 製品名「ソナーエージ®」

緊急地震速報のFM電波を使用した緊急表示システム専用の切替機で緊急地震速報を自動受信し、緊急地震速報画面へ切り替える。各施設で設置済みのデジタルサイネージに後付けも可能で、新たにサイネージを購入する必要がなく、インターネット回線が不要。



表敬訪問の様子

た。防災ビジネス研究会では、さいたま市イノベーション技術創出支援補助金を活用し、防災・減災に関わる技術分野において研究開発(2017年度補助事業)、および実証実験(2018年

度補助事業)に取り組んできました。

このほど、デジタルサイネージ(電子看板)に緊急表示機能を付加する防災製品が製品化され、清水市長へ製品説明とデモンストレーションを行いました。

また、アブラヤシバイオマス利活用研究会では、SATREPS(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)への申請に向けて、オンラインによる検討会を複数回開催する等、精力的に活動を行っております。

各研究会の活動については協議会ホームページでも随時ご報告いたします。研究会への参加希望やご不明点等ございましたら、事務局までお問い合わせください。

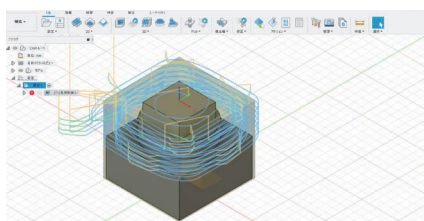
Report

03

## 「3D-CAD&3Dプリンター研修(さいたま市連携事業)」を実施

埼玉大学では、さいたま市と連携し、ものづくり企業の新事業展開など新たな試作開発における人材の育成支援を目的として「3D-CAD&3Dプリンター無料研修」を開催しています。2020年度は、Fusion360入門・実用・応用、SolidWorks初級、ReCap Photoによる3D画像合成に加えて、新たにCAM演習の6コースを設けました。

新設のCAM演習コースでは、1日目はFusion360のCAM機能による3Dモデル加工用のNCデータ(Gコード)作成の演習を行いました。実際に使用するNC加工機(マシニングセンター)の切削工具の形状や加工条件(回転数や切削速度)を設定のうえ、Gコードを作



Gコード加工の工具軌跡シミュレーション

成します。2日目は、埼玉大学内実習工場において、NC加工機による切削加工の実習を行いました。受講者からは、普段は外注することも多い加工現場の様子まで一貫して体験できたことで、現場目線での図面・デザイン作成等に大いに参考になったというご意見をいただいております。

本研修の受講により、3D-CADの設計ツールとしての機能だけでなく、設



NC加工機実習

計、製造、営業及び販売などの各部門を繋ぐコミュニケーション・ツールとしての機能を活用できるものと考えます。実際に、機械だけでなく電気・電子、化学、建設・土木、情報・CAD、医療及びデザイン関係などの各種業界の方々が参加されていますので、多種多様な業界及び業務の方々からの受講をお待ちしています。

▶▶ 研修スケジュールは巻末(P.08)のカレンダーに記載しております。



## 会員企業訪問記

学生リポーター

根上 宗一郎、原口 知大、  
吾妻 玲花  
経済学部 経済学科  
法と公共政策メジャー 3年



「立ちどまらない保険。」  
挑戦し続ける姿勢は  
“お客さまのために”

## あいおいニッセイ同和損害 保険株式会社

### COMPANY PROFILE

企業名：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社  
所在地：埼玉県さいたま市中央区上落合1-12-16(埼玉支店)  
設立：1918年6月30日 資本金：1,000億円  
代表者：代表取締役社長 金杉 恭三  
事業内容：損害保険事業

Interview

01

## 概要

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、あいおい損害保険株式会社とニッセイ同和損害保険株式会社が2010年に合併して誕生した保険会社です。同社は自動車保険に強みを持っており、業界に先駆けて様々なチャレンジを行ってきました。「事故のあとの保険から事故を起こさない保険へ」をキャッチコピーに、安全運転の推進、交通事故の未然防止に貢献しています。また、最近では自然災害対応にも力を入れており、地震や台風の被害をリアルタイムで予測する世界初のウェブサイト「cmap(シーマップ)」の共同開発による取り組みは高く評価され、第29回地球環境大賞において大賞を受賞しました。



ている会社だと感じました。

### テレマティクス技術

同社が挑戦する取り組みの1つに、業界初のテレマティクス技術を活用した事故対応があります。ドライブレコーダー映像を活用して、事故発生時の電話対応は「受信型から発信型」、事故状況の確認は「憶測から視認へ」、過失割合などの示談交渉はデータを軸とした「主観から客観」へと、従来の対応から進化しています。相手車両の速度をAIで解析、過失割合の判定をサポートする最先端の機能を実装し、先進的な事故対応を目指しています。



実際に職場見学でも、障がい者の方が他の人と同じように力を発揮している様子を見ることができ、多種多様な人が自由に働ける職場であると感じました。また、同社は社風に「情熱」を掲げる他、大手4社の中で唯一の非財閥企業であるため、“常に挑戦者である”という姿勢を大事にしており、社内で出会う全員が目を輝かせていたのが印象的です。こうした気概が、次々に新たなサービスを生み出す原動力になっているのだと感じました。そして事故対応においては、「親身に寄り添うことで安心をお届けすることが我々の使命である」とのことで、社員の方々の顧客一人ひとりを大切に思う気持ちがとてもよく伝わりました。

### おわりに

今回の企業訪問では、事故が起こった時に送られてくるドライブレコーダーの映像や事故状況などのデータを実際に拝見させていただき、非常に参考になりました。また、社員の皆様にはお忙しい中時間を割いていただいた上、私たちの質問にも真摯に答えていただき、有意義な時間を過ごすことができました。このような大変貴重な経験をする機会を与えてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。



Interview

02

## TOPICS

### 先進性×多様性×地域密着

同社は、強みである「先進性」「多様性」を発揮し、課題解決に取り組むことにより「地域密着」の確立を目指しています。先進性の面では、テレマティクス戦略やICT技術によるBrand Valueの確立、多様性の面では、異業種連携の加速に取り組んでいます。そして、リテールの強みを活かして地域社会に貢献することで、地域密着の確立を目指します。環境が変化する中、新たな挑戦をし続け



Interview

03

## 学生目線

私たちが仕事のやりがいについて質問した際には、お客様からの感謝の言葉や、話し合った末の契約の成立、受け持ちの代理店の成長など、社員の皆様が多角的な視点から色々なお話をしてくださいました。多様な考え方を持った人達が集まっているからこそ、それぞれの強みや知見を生かし、顧客に合わせた様々なサービスを提供することが可能であると実感しました。



## 会員企業訪問記

学生リポーター

小山内 翼、安達 稜太  
工学部 機能材料工学科4年

提案力、技術力、人材育成力で叶える  
「ダイバーシティの時代に対応可能なワンストップ・サービス」

# パシフィックシステム 株式会社



### COMPANY PROFILE

企業名：パシフィックシステム株式会社  
所在地：埼玉県さいたま市桜区田島8-4-19  
設立：1980年8月 資本金：777百万円  
代表者：代表取締役社長 渡邊 泰博  
事業内容：システム開発、運用・管理

Interview

## 01 概要

パシフィックシステム株式会社は太平洋セメント株式会社のシステム部門が独立して誕生した会社です。豊かで高度な情報社会を実現するために、確かな情報通信技術に基づき、ソフトウェア開発やシステム販売、システム運用などを行っています。それと共に、環境への配慮、社会貢献とも調和した事業活動の実施を心掛けています。

IT業界において、特徴ある技術を持つ、個性ある企業を目標に、『あなたと共に未来をつくるベストパートナー』として、お客様のビジネス変革を支援しています。



とを心掛けていますと伺いました。

同社は生コンクリート工場における品質管理システム、鉱山・砕石業に特化した出荷・販売システムなど、お客様の現場の要望に応えるシステムの企画・開発を行ってきました。

企画・開発で終わらずに運用・保守まで一貫して行うことや、SI企業では珍しい画像処理システムを扱うことも、同社の強みです。

### 働きやすい職場作り

ミスマッチ解消のために、自己申告制度として、仕事に対する満足度、適正、能力の発揮度や、異動希望の有無を毎年確認しています。また、必要な条件を社員に公開し、希望者を公募して面接などにより人事異動を決定する、「社内人材公募」を行った実績があります。その事業に最も関心のある人を集め、プロジェクトを活性化させます。同時にアイデアを持っている社員にビジネスのチャンスを与えることで、社員の創造性を発揮させ、成長を促すことが出来ると考えているそうです。

働き方の面では、同社は有給休暇・育児休業・長期休暇の取得や、定時退社の推進を行っており、働きやすい環境が整っていると感じました。



今回は、画像処理部門、開発部門、運用部門の3部門を見学させていただきました。部門ごとに、それぞれ担当している業務は異なっていますが、お客様のことを第一に考えることが全体の共通意識としてあると感じました。お客様それぞれのニーズに応えるために、コミュニケーションを通しての相互理解も大切にしており、ITに関する知識が少ない私たちに対しても分かりやすく説明していただきました。与えられた仕事に対して、誇りと責任を持って取り組んでいる姿がとても印象に残りました。

また、積極的な休暇の取得や定時退社を推進して、お客様だけでなく社員のことも第一に考えているのも魅力的でした。

### おわりに

今回の企業訪問では、社内の様子を見学させていただき、大変貴重な体験をすることができました。また、お忙しい中、時間を割いてとても丁寧に説明していただいた社員の皆様により感謝申し上げます。ありがとうございました。

Interview

## 02 TOPICS

### お客様との対話

同社にとって、『お客様の課題を解決すること』が最重要使命であり、それは設立から40年経つ今も変わりません。

お客様によって抱えている課題は異なるため、丁寧なヒアリングの上で、それぞれに合った改善策を提案します。その際には、認識の齟齬が起きないように、分かりやすく正確に伝えるこ

Interview

## 03 学生目線



## 大学発ベンチャー企業紹介

## 株式会社 Epsilon Molecular Engineering



代表取締役社長

根本 直人

NEMOTO Naoto

埼玉大学  
大学院理工学研究科 教授

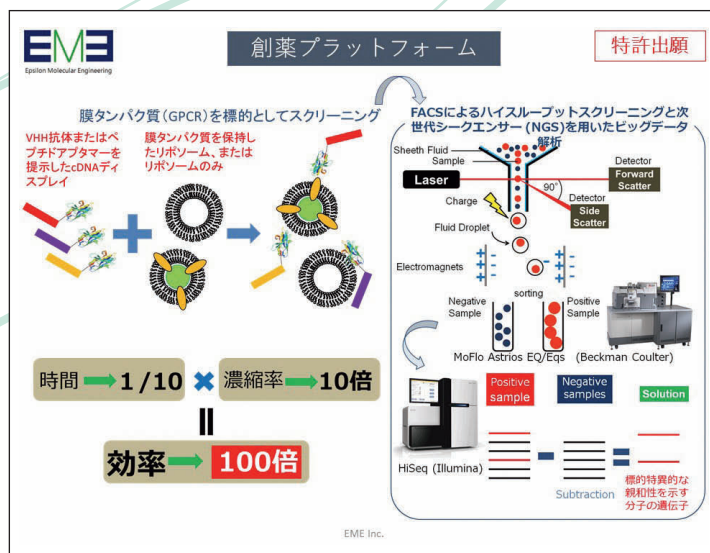
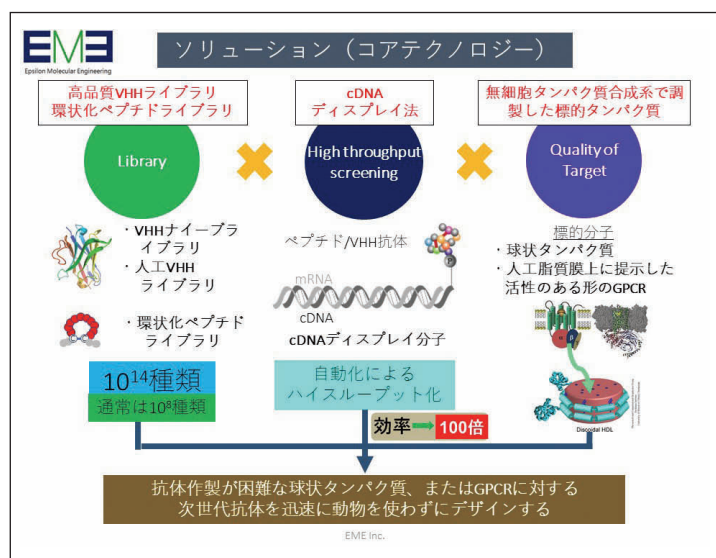
≫ ホームページ <https://www.epsilon-mol.co.jp/>

株式会社Epsilon Molecular Engineering (略してEME) は埼玉大学発ベンチャーとして2016年8月に設立され、オープンイノベーションセンター研究棟で活動を始めました。当初は埼玉大学オープンイノベーションセンターの小林裕一先生や横田一郎コーディネーターにお世話になりながら、研究棟の一室で細々と受託事業に取り掛かったのが始まりです。小林先生には大宮で商工会議所の方をご紹介いただき、いわゆる中小企業経営者としてのスタートでした。

起業のもともとの背景は埼玉大学で培ってきた機能バイオ分子のスクリーニング技術である「cDNAディスプレイ法」を何とか日本のバイオ医薬に役立てたいという一心です。しかしここで課題がでてきました。大学で出した①自動化、②システム化の特許技術を実現するには1億円ほど資金が必要なおわかりました。最初は受託事業の収益の中から地道に必要な資金を集めることを考えましたが、これだと10年以上かかることがわかりました。ITやバイオは進歩が速く、陳腐化するのは火を見るよりも明らかです。一方、科研費などでは1年以内に1億円を獲得できるものがそもそもありません。そのようなときにユニークな教育支援企業であるリバネス社の方々からNEDOのベンチャーキャピタル(VC)参加型助成金(略称

STS)の話を知り「スタートアップ」型ベンチャー企業となることでこの課題が解決できる可能性を知りました。スタートアップはVCから資金調達することで急速に成長する企業です。また、経営チームも作る必要があります。(経営チームができてチーム全員が一人で何役もこなして研究開発と事業開発を進めなくてはならないことには変わりはありませんが)幸いにも2017年にNEDOのSTSに採択され、最近では中小企業庁の戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)にも採択されて、技術基盤をより確かなものにしつつあります。まだまだ事業はこれからですが、設立後5期目を迎えて社員も総勢15名ほどになりました。いくつかの大手企業との共同研究事業を進めており、今年の5月には花王様、北里大学様との共同研究からコロナウイルス感染を阻止するVHH抗体(中和抗体)の開発に成功しました。事業としては医薬品開発を中心に製薬企業との共同研究開発を本格化する予定です。

EMEは今後も進化分子工学によるスクリーニング技術を基盤とした圧倒的な機能バイオ分子のデザイン力を武器にして医薬品のみならず診断薬、産業用酵素等の将来必要とされる「未来の分子を創造する」企業として社会とともに成長していきたいと考えております。



## 大学発ベンチャー企業紹介

## 株式会社 社会調査研究センター



代表取締役社長  
松本 正生  
MATSUMOTO Masao  
埼玉大学  
研究機構 教授

» ホームページ <https://ssrc.jp/>

## 新しい調査でスマホ・ファースト社会に対応

## 1. 調査環境の変容

社会調査や世論調査を典型とする各種のサーベイ・リサーチは、現在、社会の変容による実査環境の悪化にともない、調査結果に関する精度の低下に直面しています。一方で、社会のあらゆる局面において、客観性の高いエビデンス・データへの要請が高まっています。わけても、プロバビリティ・サンプル（確率標本）を前提とする代表性を担保した調査データの確保は不可欠です。

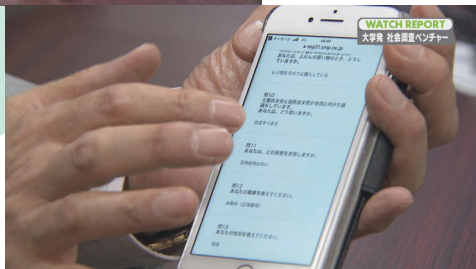
加えて、社会の情報環境、すなわち、人々のコミュニケーション・スタイルも急激に変化しています。スマートフォンの保有率は8割を超え、若年層はもちろん、中高年層においても標準装備となりました。友人との会話のみならず、仕事関係の情報交換や会話のあり方も、voice to voice（通話）からtype to type（メッセージ）へと変容しつつあります。type to type コミュニケーションは、社会のあらゆるシーンでますますカジュアルになっていくでしょう。

サーベイ・リサーチの命運は、スマートフォンにどれだけリーチできるかという点に掛かっており、調査方法はパラダイムの転換を余儀なくされています。



新たな調査手法

「ノン・スポークン調査」



## 2. 「ノン・スポークン (Non-spoken) 調査」の実装

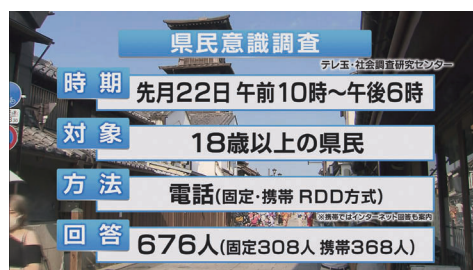
(株)社会調査研究センターでは、新方式の調査法を開発し、2020年4月から実装しています。スマートフォンを対象とするショートメール (Automated Text Message) 調査をメインにした、新しいタイプのミックス・モード手法=「ノン・スポークン (Non-spoken) 調査」に他なりません。

従来型電話調査は、調査員(オペレーター)のhuman interviewsにより意見の聴取を行っています。われわれの「ノン・スポークン調査」は、自動音声(オートコール)とショートメールとを組み合わせたtext & voice interviews を採用しています。ショートメールを経由したWeb調査ですので、単語や文章を入力してもらった記述式設問も可能です。スマホを対象とした自記式調査と定義することができるでしょう。

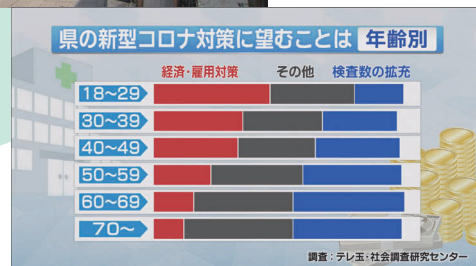
「ノン・スポークン調査」は、すでに報道機関の世論調査方法に採用され、毎月の内閣支持率などを検出しています。母集団(日本の有権者)に関するカバレッジの高さと、人々のライフスタイルに適合した方法として、そのパフォーマンスに注目が集まっています。

## 3. 調査のコーディネート、調査のコンサルティング

(株)社会調査研究センターでは、スマートフォン調査をはじめとして、郵送調査やWeb調査など、多様なサーベイ・リサーチに関する設計や調査票の作成、実査によるデータ収集、結果の集計・解析まで、高品質の調査研究をサポートしています。



県民意識調査(2020.8)



# 産学官連携活動カレンダー (予定表)

| 月 日              | イベント   | 場 所                  |
|------------------|--|----------------------|
| 8(木) ~ 9(金)      | 3D-CAD&3Dプリンター無料研修 実用Fコース                            | 埼玉大学                 |
| 15(木) ~ 16(金)    | 3D-CAD&3Dプリンター無料研修 応用Fコース                            | 埼玉大学                 |
| 10 22(木) ~ 23(金) | 3D-CAD&3Dプリンター無料研修 初級SWコース                           | 埼玉大学                 |
| 26(月)            | 第3回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会(予定)                             | メール審議 ★              |
| 29(木) ~ 30(金)    | 3D-CAD&3Dプリンター無料研修 CAM演習コース                          | 埼玉大学                 |
| 11 5(木) ~ 6(金)   | 3D-CAD&3Dプリンター無料研修 3D合成コース                           | 埼玉大学                 |
| 19(木) ~ 20(金)    | 3D-CAD&3Dプリンター無料研修 入門Fコース                            | 埼玉大学                 |
| 26(木) ~ 27(金)    | 3D-CAD&3Dプリンター無料研修 実用Fコース                            | 埼玉大学                 |
| 12 3(木) ~ 4(金)   | 3D-CAD&3Dプリンター無料研修 応用Fコース                            | 埼玉大学                 |
| 4(金)             | 第21回埼玉大学産学交流会 テクノカフェ                                 | 埼玉大学/オンライン同時開催 ★     |
| 10(木) ~ 11(金)    | 3D-CAD&3Dプリンター無料研修 初級SWコース                           | 埼玉大学                 |
| 17(木) ~ 18(金)    | 3D-CAD&3Dプリンター無料研修 CAM演習コース                          | 埼玉大学                 |
| 19(土)            | 埼玉大学ウェブセミナー 第3回 参加申込フォーム<br>第4回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会(予定) | オンライン開催<br>メール審議 ★   |
| 1 7(木) ~ 8(金)    | 3D-CAD&3Dプリンター無料研修 3D合成コース                           | 埼玉大学                 |
| 8(金) ~ 2/8(月)    | オンライン彩の国ビジネスアリーナ                                     | オンライン開催              |
| 14(木) ~ 15(金)    | 3D-CAD&3Dプリンター無料研修 入門Fコース                            | 埼玉大学                 |
| 18(月) ~ 19(火)    | BIZ match SAITAMA2021 オンライン個別商談会                     | オンライン開催              |
| 21(木) ~ 22(金)    | 3D-CAD&3Dプリンター無料研修 実用Fコース                            | 埼玉大学                 |
| 28(木) ~ 29(金)    | 3D-CAD&3Dプリンター無料研修 応用Fコース                            | 埼玉大学                 |
| 2 4(木) ~ 5(金)    | 3D-CAD&3Dプリンター無料研修 初級SWコース                           | 埼玉大学                 |
| 18(木) ~ 19(金)    | 3D-CAD&3Dプリンター無料研修 CAM演習コース                          | 埼玉大学                 |
| 25(木) ~ 26(金)    | 3D-CAD&3Dプリンター無料研修 3D合成コース                           | 埼玉大学                 |
| 3 1(月) ~ 5(金)    | 学内合同企業説明会<br>第5回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会(予定)                | オンライン開催 ★<br>メール審議 ★ |

★埼玉大学産学官連携協議会関連事業

## 2020年度埼玉大学ウェブセミナー 新しい生活様式への挑戦 ～感染症と共存する社会とは～

埼玉大学では、地域や一般の方々可以自由に参加できる公開講座、イベントを開催しております。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、ウェブセミナー「新しい生活様式への挑戦～感染症と共存する社会とは～」を開催します。その中から企業変革をテーマとした以下講座をご紹介します。皆様のご参加をお待ちしております。

|      |   |
|------|---|
| 日 時  | ▶ 2020年12月19日(土)14:00 ~ 15:00 (予定)  |
| 開催形式 | ▶ Zoomによるオンラインセミナー  |
| 講座内容 | ▶ 「もうひとつの企業変革～慢性疾患の状況をどう変え続けるか～」  |
| 講 師  | ▶ 大学院人文社会科学部 准教授 宇田川 元一   |
| お申込み | ▶ 事前登録制：右記QRコードを読み取り、第3回受講申込フォームからお申し込みください。  |
| 申込期限 | ▶ 2020年12月11日(金)  |
| 詳 細  | ▶ <a href="http://www.saitama-u.ac.jp/lecture_archives/2020091401.pdf">http://www.saitama-u.ac.jp/lecture_archives/2020091401.pdf</a> |

